

農推3465号
平成29年3月27日

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

防除情報「タマネギべと病に注意しましょう！（2次感染株初発確認）」について
（送付）

標記について、別紙のとおり作成しましたので、病虫害防除に御活用ください。

<連絡先>

大阪府環境農林水産部農政室推進課
病虫害防除グループ

TEL：072-957-0520

FAX：072-956-8711

E-mail：byogaichu@sbox.pref.osaka.lg.jp

タマネギべと病に注意しましょう！

(2次感染株の初発を確認！)

1 発生状況等

2月の泉州地域の巡回調査で、タマネギべと病の2次感染株の初発が確認された。

昨年の多発生により、ほ場内の本病原菌の密度が高まっていると考えられる。今後の天候によっては越冬罹病株からの2次感染が、拡大する恐れがあるため、注意が必要である。



写真1
(越冬罹病株)



写真2
(2次感染株・発生初期)
*霜状のかび



写真3
(2次感染株)

※原図(写真1:(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

2 べと病の生態等

- (1) 越冬罹病株(写真1)が感染源となり、温暖(15℃前後)で、降雨が続くと、2次感染株(通常のべと病株)の発生が増える(写真2、3)。

3 防除対策

- (1) ジマンダイセン水和剤・ペンコゼブ水和剤等を予防主体に散布する。
(2) 発生を認めたら、ザンプロDMフロアブル、ホライズンドライフロアブル、プロポーズ顆粒水和剤等を散布する(表1)。

表1 べと病の防除薬剤(例)

薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ジマンダイセン水和剤・ペンコゼブ水和剤	400~600倍	収穫3日前まで	5回以内
リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内
ザンプロDMフロアブル	1,500~2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
ホライズンドライフロアブル	2,500倍	収穫3日前まで	3回以内
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内

注) ジマンダイセン水和剤とペンコゼブ水和剤及びリドミルゴールドMZに含まれる成分マンゼブを含む農薬の総使用回数は、5回以内。

- Web版大阪府病害虫防除指針
(<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>)
- 農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム
(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)